|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | 看護過程 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 30時間 | |
| 担 当 者 | 治郎丸　倫子  (臨床経験10年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | １学期 | |
| 目的 | 患者が抱える健康問題を解決するための看護過程展開の技術を学ぶ。 | | | | | |
| 科目目標 | １．看護過程の基盤となるコミュニケーションの特徴と重要性が理解できる。  ２．看護過程を構成する要素とそのプロセス、また看護過程を用いることの意義が理解  できる。  ３**．**看護過程の基盤となる考え方が理解できる。  ４．看護過程の各段階の基本的な考え方を理解し、事例をもとに、看護過程の展開の実際が理解できる。  ５．看護記録の目的と留意点、その構成について理解できる。 | | | | | |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | | | | | 方法 |
| 1回  2回  3回  4回  5回  6回  7～11回  12～14回  15回 | １．コミュニケーションの意義と目的  ２．看護過程展開の技術  １）看護過程とは  　２）看護過程を展開する際に基盤となる考え方  　　（１）問題解決過程　（２）クリティカルシンキング  （３）倫理的判断　　（４）リフレクション  ３．看護過程の各段階１  　　（１）アセスメント（情報の収集と分析）　（２）全体像の把握  　　（３）看護問題の明確化（看護診断）  ４．看護過程の各段階２  （１）看護計画（２）実施（３）評価  ５．看護記録  ６．脳梗塞患者（回復期）の看護展開  　　　・事例紹介　・記録用紙の説明  ７．事例を用いた看護過程の展開  　　　情報収集・分析・関連図・看護診断・看護計画  ８．事例を用いた看護過程の展開　関連図・看護計画  ９．事例を用いた看護過程の展開（グループ発表）（45分）  終了試験（45分） | | | | | 講義  講義  講義  講義  講義  講義  個人ワーク  グループ  ワーク |
| 准看時  授業内容 | 基礎看護技術 | | | | | |
| 教科書  参考書 | 教科書：『系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔２〕基礎看護技術Ⅰ』医学書院  参考書：『看護診断ハンドブック』医学書院  『患者さんの情報収集ガイドブック』メヂカルフレンド社 | | | | | |
| 評価方法 | 学習成果物　50点　　筆記試験　50点 | | | | | |
| 関連科目 | 解剖生理学、病態生理・病理学、成人看護学概論  健康の回復と看護④「脳・神経機能障害/感覚機能障害」 | | | | | |
| 備考 | １．開講前にシラバスを確認し、事例内容に必要となる既習学習内容の復習を行い講義  に臨んでください。  ２．学習成果物の提出については、講義開始時に提示します。提出期限が守れない場合は評価の減点対象となります。 | | | | | |